

東京湾奥における藻場再生の挑戦

厳しい環境条件下でのアマモ・コアマモ再生活動

開催日：3月31日(火)15:00-17:50 会場参加&Teams参加による交流会 (+懇親会)
参加費：無料(お申込み裏面) 会場：AP赤坂グリーンクロス A1ルーム

— 都市の海で、藻場は再生できるか —

東京湾奥部は、富栄養化による濁りや底質悪化に加え、沿岸部の多くが直立護岸で占められていることから、藻場の定着・生育にとって全国でも特に厳しい環境条件にある海域です。

一方で、干潟や運河など都市部の人々のすぐ身近に水辺空間を有しており、都市の中心に豊かな自然環境を再生することができる大きな可能性を秘めています。

こうした海や運河での活動をきっかけに、自分たちの手で身近な水辺を育てていくことで、その場所に対する愛着を育み、新たな場所の価値を創り出していくことができます。

都市に暮らす私たち自身が関わり、時間を重ねながら環境を育てていくことが、都市型令和の里海づくりへとつながっていきます。

東京湾の運河域でコアマモチャレンジ
東京湾再生官民連携フォーラム 企画チーム 竹山 佳奈

いまだから話せる？(笑) 兵庫運河での藻場造成と
ブルーカーボン認証取得
徳島大学環境防災研究センター 客員教授 中西 敬

東京港藻場創出の活動方針・お台場の活動紹介
東京都港湾局 港湾整備部 計画課環境計画担当 課長代理 岡野 崇裕

東京湾再生官民連携フォーラムは、2013年から活動を開始、現在6つのプロジェクトチームに行政、民間と研究者が集まり議論を重ね、東京湾の再生活動に取り組んでいます。

主催：東京湾再生官民連携フォーラム

Tel.03-5408-8298 <http://tbsaisei.com/>



CSR-NPO未来交流会プログラム

参加活用のおすすめ

- ・街から、海から、みんなで東京湾の藻場を育て、身近な水辺から都市の未来を育てるプログラムです。
- ・多様な組織同士の交流により、共通の課題の理解を深め、社会変化に対応する知識、知恵の情報交流にご活用ください。

会場：AP赤坂グリーンクロス
〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目4-6
地下通路 出口10番 直結
東京メトロ銀座線/南北線：溜池山王駅
東京メトロ丸ノ内線/千代田線：国会議事堂前駅

参加お申込み

- ・お申込みいただきますと受付完了メールが届きます。
- ・受付完了メールが届かない場合
問合せ先 office@tbsaisei.comまでご連絡ください。
- ・受付後、Teamsでご参加いただく方へは、会議URLが届きます。
- ・会場ご参加の方には、会場地図がメールが届きます。
- ・当日、会議URLにアクセスしてご参加ください。
※取得した個人情報、交流会に関連するご報告、アンケート、次回のお知らせ以外の目的で利用することはありません。

プログラム		時間
ご挨拶	東京湾再生官民連携フォーラム 議長 佐々木 淳	15:00 ～ 15:05
東京港藻場創出の活動方針・お台場の活動紹介	東京都 港湾局 港湾整備部計画課 環境計画担当 課長代理 岡野 崇裕 氏	15:05 ～ 15:25
いまだから話せる？(笑) 兵庫運河での藻場造成とブルーカーボン認証取得	徳島大学環境防災研究センター 客員教授 中西 敬 氏	15:25 ～ 15:55
東京湾の運河域でコアマモチャレンジ	東京湾再生官民連携フォーラム 企画チーム 竹山 佳奈 氏	15:55 ～ 16:15
■交流 プレゼンテーション (参加者 NPO、企業、行政の交流タイム)		
◆参加者によるプレゼンテーションと交流 ＜話題提供＞ ・東京湾奥の朝潮運河と新月島運河における生物調査のご紹介 発表：東京都立晴海総合高等学校 ＜フリーディスカッション＞ ・質疑応答		16:25 ～ 16:55
まとめ・講評	東京湾再生官民連携フォーラム 事務局 池上 正春	16:55 ～ 17:00
■懇親会 (同会場) ・名刺交換 ・立食スタイル ※懇親会：費用 1,500円	質疑応答・意見交換	17:00 ～ 17:50

※講演プログラムは一部変更になる場合もあります。

CSR-NPO未来交流会2026のお申込みは下記のサイトまで

<https://tbsaisei.com/>

※お申込み締切日：2026年3月24日 (火)

東京湾再生官民連携フォーラム 事務局

<http://tbsaisei.com/> TEL：03-5408-8298

